

2008年3月20日

総務幹事 中山雅弘

2008年を迎えて寒い1月、2月となり大阪でも何度かの積雪が見られました。3月に入りようやく春めいたひざしとなりました。皆さんはいかがおすごしでしょうか？

昨年夏に行われた日本小児病理研究会総会において総務幹事にご指名いただきました。幹事は長年務めさせていただきましたが、総務幹事は身に余る大変な役職です。皆様のご協力で職責をまっとうしたく存じます。

数年前よりアンケート等の意見を通して、いくつかの小児病理分野の発展のための方策が、これまでの総務幹事のご尽力で進められてきました。地域の活動状況の紹介や小児疾患の臨床・病理セミナーなどがその主なものでした。今後もこのような体制を維持していきたいと考えております。研究会のホームページも事務局のご努力で作製されておりますが、最近のトピックなどの掲載や年ごとの更新の計画などを考えてゆきたいと思っています。

以前から小児病理の独自性の追求が研究会の発展につながるという考えがあり、その気持ちは今でもありますが、病理学会全体の中での小児病理の存在が、以前と少しずつ変わってきているという印象です。病理学会が直面している問題を本研究会でも考えるというような発想も必要かと考えています。

剖検数の減少をどうとらえるのか？ オートプシー・イメージングをどう考えるのか？ 化学療法後の腫瘍検体への対処その他多くの問題があります。

社会へのアピールもさることながら、各個人が参加して有益であったというような研究会であればと思います。各地域の小児医療の中で日々臨床医と対峙し直面されている問題を持ち寄っていただき、共通の課題としてさらなる発展の礎にすることが大事であると考えます。

小児腫瘍組織分類委員会では、今年度肝胆膵臓譜改訂作業が予定されています。若手小児病理医あるいは一般病理医にも魅力のある会にしたいとの問題提起がなされ、いくつかの対策が試みられると思います。また、非腫瘍性疾患等の登録や分類などについて、要望などがありましたらご提案ください。

今年度の小児病理研究会は、長野こども病院小木曾会長の下に行われます。詳細については次号で連絡しますが、日時は、9月5日（金）、6日（土）の2日間、会場は信州大学旭会館の予定です。特別講演は高嶋先生で、これまでの集大成をお話しいただけるようです。臨床と病理のセミナーについては、救急搬送が増えるのに伴ってそれに関連した剖検が多くなっているので、「臨床側が病理に望むこと」をテーマと考えておられるようですがまだ最終の決定ではないので強い希望があれば変更も可能とのことでした。

2. 地区集会の報告

1) 関西小児病理研究会

第58回関西小児病理研究会 平成19年6月23日（土）於大阪市立総合医療センター

世話人 井上健（大阪市立総合医療センター病理部）

- 1 (372) 左頸部巨大腫瘍の一例 大阪市立総合医療センター病理部 井上健、他
- 2 (373) 生下時より認められた背部腫瘍の一例 大阪市立総合医療センター病理部 福島裕子、他
- 3 (374) 慢性肉芽腫症の一例 兵庫県立こども病院 検査・放射線部 病理室 吉田牧子、他
- 4 (375) 脾腫を認めた13-trisomyの1剖検例 大阪市立総合医療センター病理部 久保勇記、他
- 5 (376) 胎児腹水の死産例 大阪府立母子保健総合医療センター検査科 中山雅弘、他
- 6 (377) Congenital cystic adenomatoid malformation; CCAMの2例 大阪府立母子保健総合医療センター検査科病理 松岡圭子、他

第59回関西小児病理研究会 平成20年1月12日（土）於大阪市立総合医療センター

世話人 吉田牧子（兵庫県立こども病院 検査・放射線部 病理室）

- 1 (378) Stage IV 神経芽細胞腫の1例 兵庫県立こども病院 検査・放射線部病理室1), 小児外科2), 血液腫瘍科3), 放射線科4), 西神戸医療センター 病理科5), 神戸市立医療センター中央市民病院 病理6), 吉田牧子1), 橋本公夫5), 今井幸弘6), 高見沢滋2), 荒井洋志2), 横井暁子2), 尾藤祐子2), 岡本竜弥2), 佐藤志以樹2), 西島栄治2), 長谷川大一郎3), 川崎圭一郎3), 竹田洋樹3), 林 耕平3), 小阪嘉之3), 赤坂好宣4), 山口善道4), 橋村宏美4)
- 2 (379) 小児機能性副腎皮質腫瘍の一例 関西医科大学附属枚方病院 病理部 大江知里、坂井田紀子、植村芳子
- 3 (380) 原因不明の重症新生児仮死後、経過中に肝不全を発症した日齢44乳児の解剖例 桑江優子1、松岡圭子1、南條浩輝2、北島博之2、中山雅弘1 大阪府立母子保健総合医療センター検査科1 同新生児科2
- 4 (381) 巨大肝腫瘍の1手術例 大阪赤十字病院 病理部 新宅雅幸、小児外科 渡邊健太郎、松川泰廣
- 5 (382) Split notochord syndromeの1例 久保勇記1)、井上 健1)、福島裕子1)、小林庸次1、3)、中村哲郎2)、大野耕一2)、林 宏昭2) 大阪市立総合医療センター病理部1)、同小児外科2)、南大阪病院 病理診断科3)
- 6 (383) 大きな嚢胞を形成する大脳腫瘍の一例 大阪市立総合医療センター 病理部 井上 健、福島裕子、久保勇記、小林庸次、小児脳神経外科 松阪康弘、坂本博昭
- 7 (384) 種々の小児疾患剖検脳における脳症関連病変(Clasmatodendrosis)の解析 中山雅弘、木本哲人、松岡圭子、桑江優子 大阪府立母子保健総合医療センター検査科病理

～～～関西小児病理研究会のご紹介～～～

関西小児病理研究会は1年に2回のペースで行われています。

3. 事務局より

- 1) 会報の発行が遅れ、新年度となつてしまい、大変申し訳ございませんでした。新総務幹事のもと、本会がますます発展していけますよう、会員各位のますますのご協力のほどよろしくお願いいたします。
- 2) 第28回日本小児病理研究会は2008年9月5日(金)、6日(土)の2日間、会場は長野県立こども病院小木曾嘉文先生のお世話で、信州大学旭会館を会場として開催される予定です。詳細につきましては、次号にてお知らせいたします。
- 3) 日本小児病理研究会の入退会につきましては、E-mail または FAX にて事務局へご連絡ください。
なお、本会報の発行、送付が大変遅くなりましたことをお詫び申し上げます。

日本小児病理研究会事務局 〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1 国立成育医療センター臨床検査部病理検査室内 松岡 健太郎 TEL : (03) 3416-0181 FAX : (03) 5494-7136 E-mail: matsuoka-k@ncchd.go.jp 本研究会のホームページ： http://www.ibmd.jp/~jspp/
